

**第7回理事会** 日時: 10月25日(水)午後4時開会。会場: 協会々議室。出席者: 浅田会長ほか19名。

報告事項: I. 評議員黒田泰造氏逝去の件。II. 編集委員会に関する件。III. 企画委員会に関する件。IV. 秋季大会に関する件。V. クリープ試験に関する件。VI. 工業標準原案委員会の件。VII. 国際溶接会議に関する件。VIII. 独乙鉄鋼協会年次大会に招請の件。

協議事項: I. 編集委員交代の件。II. 企画委員交代の件。III. 事務所移転に関する件。IV. 明年度秋季大会に関する件。V. 九州支部に補助金交付の件。VI. 大河内賞候補者推薦の件。VII. 9月中収支決算の件。VIII. 9月中入退会その他会員異動の件。

**第8回編集委員会** 日時: 10月31日(火)午後5時開会。会場: 協会々議室。出席者: 佐藤理事ほか17名。

報告事項: I. 会誌第11号完成および第12号完成見込について。II. 第62回講演大会について。

協議事項: I. 会誌第11号の講評。II. 投稿論文の審査。III. 37年第1号掲載論文の選定。

**第7回企画委員会** 日時: 10月10日(火)午後5時開会。会場: 協会々議室。出席者: 俵(隆)理事ほか8名。

報告事項: I. 秋季大会に関する件。II. 石原研究奨励金に関する件。

協議事項: I. 東洋レーヨン科学技術賞および科学技術研究助成金候補者推薦の件。II. 大河内賞候補者推薦の件。III. 朝日賞候補者推薦の件。IV. 欧文誌編集委員1名推薦の件。V. 欧文誌掲載会社工場選定の件。

**評議員逝去** 本会評議員黒田泰造氏(元日本製鉄株式会社取締役)は急病にて10月7日逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

**編集委員交代** 編集委員野崎善藏氏地方に転出のため辞任、後任に高橋俊雄氏(大同製鋼株式会社平井工場管理課長)を委嘱した。

**企画委員交代** 企画委員知崎喬氏地方に転出のため辞任、後任に鳥羽亮一氏(住友金属工業株式会社東京支社技術部次長)を委嘱した。

(特許記事 1749 ページよりつづく)

#### 可鍛鉄の製造法

特公・昭35—14904(公告・昭35—10—10) 出願: 33—10—1, 発明: 川島洋太郎, 松下 亨出願: 理研ピストンリング工業株式会社

C 1.8~3.2%, Si 1.6~2.2%, Mn 0.45%以下 P 0.13%以下, S 0.5%以下を含有する白鉄を製造する工程と、その白鉄を加熱し 900~1050°C の温度範囲で少くとも遊離セメントイトが焼戻炭素とオーステナイトに分解する迄焼鈍する工程と焼戻工程に直ちに続いて或は加熱して組織を同じく焼戻炭素とオーステナイトにせしめた後に続いて230~450°C の温度の液体中に急冷し、同温度範囲の一点又はそれ以上の箇處で20~150分間保持又焼戻す工程との結合を特徴とする。

#### 圧延機の組立部分に対する

#### 雌ネジ及び心軸から成る調節装置

特公・昭35—14907(公告・35—10—10) 出願: 33—9—8, 優先権: 1957—9—9(独), 発明: カール・ノエマン 出願: メーレル・ウント・ノエマン・ゲゼルシャフト・ミット・ベジューレンクテル・ハフツング

#### 球状黒鉛鋼の製造法

特公・昭35—15002(公告・昭35—10—11) 出願: 32—10—12, 発明: 音谷登平, 丸山益輝, 師岡保弘, 形浦康示, 出願: 金属材料研究所

一般鋼においてはC含有量1.7%以下, 特殊合金鋼においてはC含有量2.5%以下の溶湯中に0~2%の弗化Caを溶剤とし, Ca 0.01~1%と, Ce 0~1%, Li, Sr Ba 元素のいずれか一種または一種以上0.001~1%と

を添加処理し, Ca 0.001~2%, Li, Sr, Ba の何れか一種または一種以上0.0001~0.1%とMg 0~0.03%とを残留させ, この処理溶より溶湯を鑄込む。

#### 材料熔断装置

特公・昭35—15007(公告・昭35—10—11) 出願: 33—2—27, 発明: 伊藤悌二, 米井 澁, 出願: 八幡製鉄株式会社

#### 彎曲管製造法

特公・昭35—15008(公告・昭35—10—11) 出願: 33—3—24, 出願発明: 田島正一

#### 真空脱ガス金属熔解鑄造方法

特公・昭35—15205(公告・昭35—10—13) 出願: 33—10—2, 発明: 林 主税, 出願: 日本真空技術株式会社

#### 粉鉄鋳製装置

特公・昭35—15553(公告・昭35—10—18) 出願: 32—8—7, 出願発明: 久保 要

密閉耐圧構造の熔解炉に還元筒を側面に横方向に気密的に連絡し, 該還元筒内には螺旋輸送機を備え, 該還元筒内に充満輸送中の粉鉄鋳と該熔解炉の排気とを加圧の下に接備せしめて粉鉄鋼を短時間に連続的に還元鉄にするようにした。

#### 流動処理炉装置

特公・昭35—15554(公告・昭35—10—18) 出願: 35—12—27発明: 横田信三, 出願: 四国化成工業株式会社

#### 製鉄用電気炉

特公・昭35—15555(公告・昭35—10—18, 出願: 32—10—16, 出願発明: 中島統一